

リハビリテーション医療部では「自分で動く運動療法」を中心にしています

痛みがあると動かない方が良いと思われがちですが、実は運動を中心としたリハビリテーションは身体を強くするだけでなく心理面にも好影響があり、すっきりした気分になり体が軽くなります。慢性的な痛みになるほど受動的な治療（やってもらう治療）は効果が低く、自分で動く運動療法の方が痛みの軽減や生活の質改善に効果があると言われています。したがって当リハビリテーション科では受け身の治療となりやすいものはあえて使わずに、痛みと向き合える心身をつくることを心がけています。もちろん痛みの状態や改善具合に合わせて行います。痛みを取るだけでなくご自身の生活に目を向け、痛みに関連する身体機能の改善や動きの再獲得、痛みの再発予防を行います。病気だけを診ずに、患者さん全体を考え痛みによって妨げられた豊かな生活を取り戻していきます。

当院では、総合病院の特色を活かし、痛みが強く慢性的に引き続く場合は、リハビリによる身体機能改善と、医師による痛みの治療、臨床心理士による心理的サポートで他職種での連携した治療を提供しています。

## 慢性痛の治療

心理的  
サポート

臨床心理士

身体機能改善  
リハビリ

理学療法士

痛みの治療  
薬物療法  
神経ブロック

ペインクリニック医



日常生活活動・活動性・生活の質の改善

